

リプライのポジネガ極性を用いた Twitter 炎上の分類に関する研究

渡辺 みずほ

近年, Twitter や Instagram などの SNS の普及により, 誰もが容易に自身の考えや出来事をインターネット上に投稿することが可能になっている。一方で, その情報発信の容易さから, 倫理的に不適切な投稿や, 誤った情報を発信・投稿したりすることなどが原因で, 不特定多数のユーザから批判的な意見が殺到する, ネット炎上が多く発生している。

最近では映画「アナと雪の女王 2」公開時に, 著名な漫画家たちが Twitter 上で, PR 表記をせずに同映画のレビュー漫画を投稿したことで, 宣伝にもかかわらずそれを秘匿し投稿している, ステルスマーケティングが疑われるなどのリプライツイートが多く送られた。レビュー漫画を投稿した漫画家たちは, 翌日に謝罪文を掲載するなど炎上を鎮静化するための対応を取っている。

炎上の予測や炎上加担者の分類などを行う研究はあるが, 炎上を 100% 避けることができるというわけではなく, 偶発的な発生も避けられない。本研究では過去に発生した炎上そのものを分類することで, 炎上後に必要となる効果的な対処法の判断を容易にすることを目的としている。

ブログでの炎上を類型化した研究では, 炎上を 3 種類に大別できるとし, それぞれの種類によって効果的な対処法が異なるとしている。本研究ではこのブログでの炎上分類が SNS でも相当程度適用できるという仮説のもと, Twitter で発生した炎上を, リプライツイートが返信先ツイートに対して肯定的か否定的かを判定し, 返信先ツイートの投稿経過日ごとのネガティブ度を求め, 経時的な変化の傾向を用いて分類する。人手によって炎上と判断したツイートの, 日ごとのネガティブ度を正解データとし, 分類結果と比較して提案手法の有効性を検討した。

提案手法を用いて分類した結果, 炎上の種類それぞれに対する顕著な差異は見られなかった。また elbow 法を用いて適切なクラス数を求めると, 2,3,4 クラスが適切と考えられる結果が得られたが, 3 クラス・4 クラスに分類した際はどのデータも属さないクラスが存在し, 指定したクラス数よりも少ない数に分類された。

その原因として, tslearn による分類の際に扱うデータ数の不足や, 炎上ツイートを抽出する際の条件が考えられる。さらに, 炎上はツイートが投稿されてから 1~2 日間ほどのごく短い日数で発生・収束する傾向が知見として得られた。ツイートが投稿されてから 3~6 日後にはほとんどリプライツイートが送られず, ツイートに対して肯定的なりプライツイートも否定的なりプライツイートも 0 になってしまうことで, ネガティブ度が一定になってしまう。ネガティブ度を日ごとに付与したために, ネガティブ度の高低が大まかになってしまい, 適切に分類されなかったと考えられる。そこで時間ごとのネガティブ度による分類を行ったところ, 指定したクラス数に分類することができた。

(指導教員 佐藤 哲司)